

令和7年度の振り返りと今年度の取組

CO₂の回収・利活用に向けた研究会【第1回】

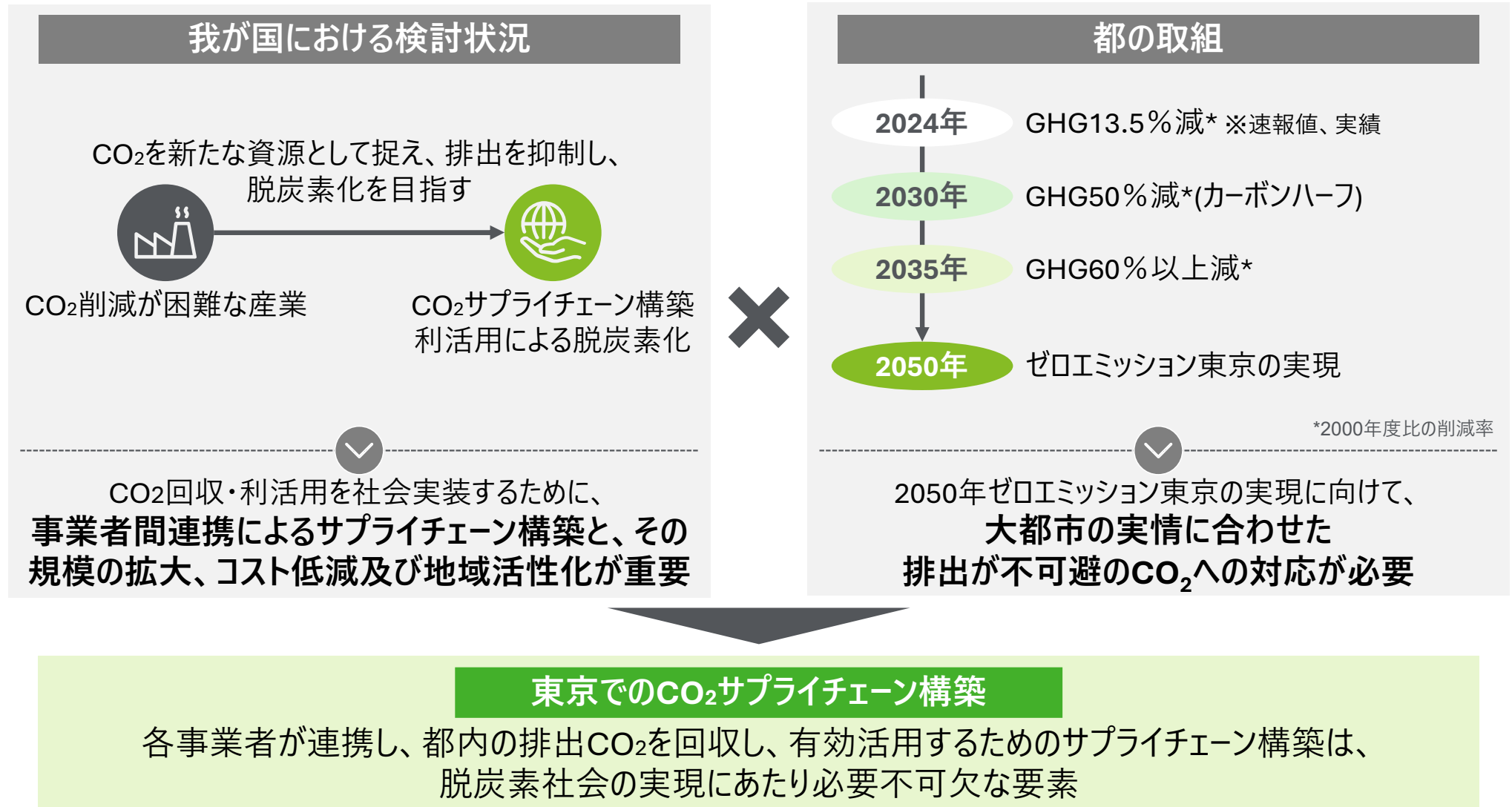
2026年9月17日

資料 1



都の目標である2050年ゼロエミッション東京の実現に向け、CO₂関連の事業者が連携し、CO₂回収・利活用に関わる産業を活性化させることが重要になる

CO₂回収・利活用に関わる産業活性化の背景と意義



昨年度の研究会では、CO₂サプライチェーン構築に関する議論を行った。

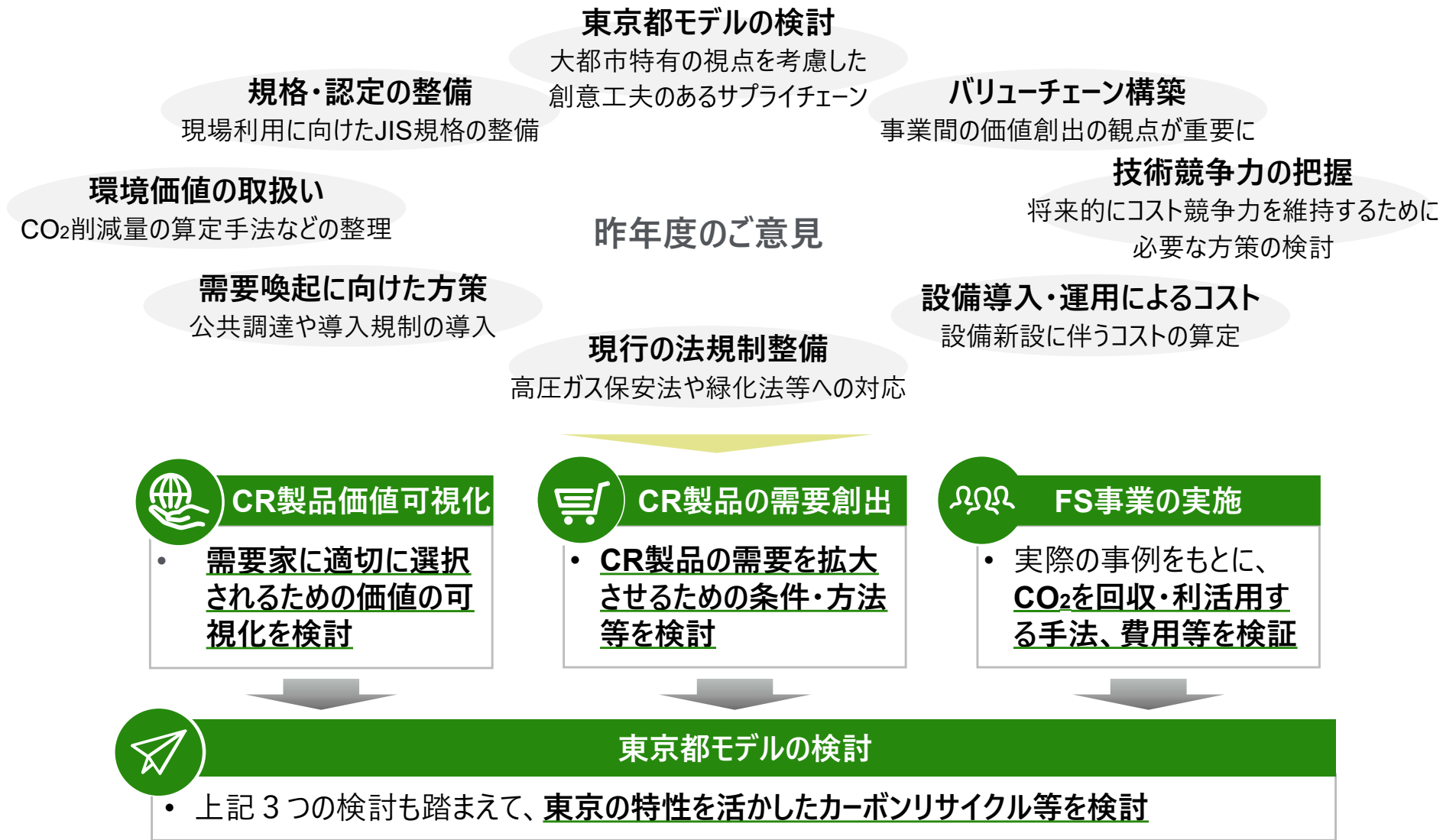
令和7年度研究会の実施結果

	日程	議論内容
第1回 研究会	<u>2025年6月27日</u>	■ 本研究会設立・運営方針の共有 ■ サプライチェーン構築時の想定され得る課題、課題に対して必要となる方策に関する議論
第2回 研究会	<u>2025年9月17日</u>	■ 都にて実効性のあるCO₂サプライチェーンの在り方・支援スキームに焦点を当て検討
第1回 分科会	<u>2025年11月28日</u>	■ 参加事業者から、自社技術を起点としたCO₂サプライチェーン構想案を共有 ■ 各社間のマッチングを促進
第3回 研究会	<u>2026年1月16日</u>	■ サプライチェーン構築の具体的検討に必要な事項を明確化 ■ 供給体制の構築に加え、需要創出に向けた施策を整理
第4回 研究会	<u>2026年3月25日</u>	■ 「CO₂サプライチェーン構築に係る実現可能性調査*」に関し、都として目指したい方向性や来年度からの全体会合の進め方を共有

*本資料では便宜上『FS事業』と称す

昨年度までの議論も踏まえ、今年度はCO₂サプライチェーン構築に向けたFS事業と並行して、カーボンリサイクル(CR) *製品の有する価値の可視化や需要創出、東京都モデル等を議論する

昨年度のご意見と今後の取組事項



*CO₂を炭素資源(カーボン)と捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用(リサイクル)することをカーボンリサイクルという。
本研究会では、カーボンリサイクル製品のことをCR製品と記載する。

今年度は、研究会2回とテーマ別の分科会2回を開催予定

開催スケジュール

令和8年度研究会（予定）

現時点想定(今後検討する中で、変更可能性あり)



実施時期

- 回数 : 4回程度（研究会を2回、分科会を2回）
- 時期 : 9月～2月頃



実施方式

- 方式 : 対面開催（予定）



参加者

- 参加者 : 有識者、事業者*、東京都
*CO₂の回収・利活用に取り組む事業者



議事内容

- CO₂の回収・利活用に関わる産業活性化に係る検討
①CR製品が有する社会的価値、②CR製品の需要創出について意見交換
- FS事業の中間報告と課題等の共有
- 東京におけるCO₂回収・利活用に係る方向性の検討